

七 養 だより

発行
青森県立七戸養護学校
青森県上北郡七戸町字蛇坂 57-31
TEL (0176) 62-2331
FAX (0176) 62-4535
ホームページ
<http://www.shichinohe-shien.asn.ed.jp>



「人間尊重の心」

校長
伊藤
良輔

る人に声をかけたり 痛めている友人を気遣つたりする行為は、些細なことに見えても相手に安心感や勇気を与えます。思いやりは大きな行動でなくともよく、日常の小さな心配りの積み重ねが人間関係を豊かにします。電車で席を譲る、落ち込んでいる人に優しい言葉をかける、感謝の気持ちを伝えるなど、誰にでもできる行動が思いやりの表れです。さらに、思いやりは相手だけでなく自分自身をも成長させます。他者を理解しようとする姿勢は、自分の視野を広げ、柔軟な心を育てます。現代社会は忙しさや競争に追われ、つい自分中心になりがちですが、思いやりを忘れないことで人間らしい温かさを保つことができます。思いやりは人を結びつけ、信頼を築き、互いに支え合う力となります。だからこそ、私たちは日々の生活の中で思いやりの心を意識し、育んでいくことを大切にしたいと思います。先の見えない予測困難な時代だからこそ、学校教育を通して人間尊重の心を大切にしていきたいと思うのです。

相手を尊重することは、人と人との関係を温かくし、社会をより良くする大切な心の在り方です。人を尊重することの一つとして「思いやり」が頭に描かれるのではないでしようか。思いやりとは、相手の立場に立つて考え、相手の痛みや喜びを自分のことのように感じ取ることから生まれます。例えば、困っている人に言ひ方を変える、返し言葉で応じるなど、

「青森県特別支援学校技能検定」発表会は平成二十七年度から行われている取り組みで、今年度は十一月十九日（水）に青森市にあるマエダアリーナで行われ、高等部一・二年生が参加しました。

この検定は、県内の高等部の友人等が、特別支援学校が一堂に会し、日頃の学習成果を發揮したり、専門家から評価を受け、卒業後の社会的・職業的自立の意欲を高めたりするなどの目的があります。



と、発表会に参加したことに喜びや達成感を感じていま
した。

「各地区情報交換会及びPTAレクリエーション」
涉外部 下山 ゆき子

十月二十五日（土）、本校で各区情報交換会及びPTAレクリエーションが開催されました。

情報交換会では、保護者同士でお互いの共通点探しゲームや意見交換を行いました。とても和気あいあいとした雰囲気の中、知りたい情報について共有し合い、小学部・中学部・高等部の垣根を越えて、保護者同士の親睦を深めていました。

PTAレクリエーションでは、「スクール実 minori」代表の佐伯知美さんを講師にお招きし、親子で造形活動を行いました。布張りキャンバスに保護者がボンドを垂らし、その上から、子どもたちが好きな色の絵の具で思い思いに色付けしていき、世界に一つだけの素敵な作品が出来上りました。

こどもたちや保護者からの感想では、「楽しかった。」「思い出になつてよかつた。」「こどもと楽しい時間を過ごせた。」と好評でした。

小学部
低学年

「小学部学習発表会」

小学部 飯豊 明子

小学部
高学年

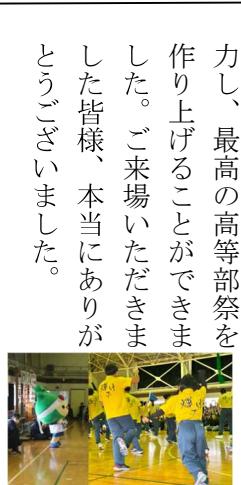
「小学部学習発表会」

小学部 葛西 結衣
笛森 優華

中学部

「中学部学習発表会」

中学部 佐藤 秀憲



高等部

「高等部祭」

高等部 横浜 隆雄

低学年1グループは、二十五人のメンバーで、「ピクニックにレッツゴー！」をテーマに電車に乗って、大きな海やきれいな山の上に友達と一緒にお出掛けしました。「うみ」では、歌を歌つたり、大きな青のシートを歌に合わせて揺らしたり、仲間と一緒に海を表現しました。

2グループは、二十五人のメンバーで、「ミニ・コンサート」世界の国からここにちは〜」をテーマに友達と一緒に音楽の世界旅行をしました。「おもちゃのチャチャチャ」では、ブラジルの曲調に挑戦し、タムタムやカバサ、カウベルなど、民族楽器を使つたリズム演奏を発表しました。

当日、それぞれのグループの子どもたちは、練習の成果を發揮し、たくさんの拍手をもらつて、みんな嬉しい表情を浮かべていました。

たくさん応援や拍手をありがとうございました。

高学年1グループは、十七人のメンバーで、「大好き！あおもり～Try！Try！やつてみよう♪」をテーマに、青森の四季を表現したり、ねぶた囃子の演奏をしたりしました。みんなで作成した、ななちゃんねぶたも登場し、会場を盛り上げました。一人ひとりが自分でできることに挑戦したり、友達と協力したりして、練習の成果を発揮することができました。

高学年2グループは、二十一人のメンバーで、「にじ～心をひとつに笑顔を」と「どけよう」のテーマのもと、家族や友達が笑顔になれる発表を目指し、毎日の練習を頑張つてきました。練習を重ねる毎に、自分に自信がつき、堂々とした姿で発表できるようになりました。本番は、練習の成果を発揮し、たくさん的人に笑顔を届けることができました。

たくさん応援や拍手、ありがとうございました。

昨年度まで、「中学部祭」という行事名で開催しておりましたが、今年度から「中学部学習発表会」という名称に変更し、内容も気持ちも新たに取り組みました。新型コロナ禍での縮小しながらも工夫されたやり方から、更に一步前に進んでいきたいという気持ちで、音楽学習グループでの発表と作業学習グループでの販売・実演の二部構成としました。ご覧いただいた皆様、生徒の生き生きとした活動の様子、いかがだったでしょうか？

音楽1グループでの器楽演奏や合唱、音楽2グループでの合唱やボーカルなど、生徒たちの努力の成果が見て分かる感動的な発表でした。作業学習グループでの販売や実演も、それぞれが工夫を凝らし、年末の商店街を思わせる大盛況ぶりで、非常に印象的な学習発表会となりました。

十月十一日（土）高等部祭が行われました。『煌星連結～sparkling together～』をスローガンに日頃の学習活動の成果を披露しました。学習発表では、音楽の時間に練習を重ねてきた「ふるわと」、「明日へ」、「負けないで」の3曲を、心を込めて歌いました。実演・販売では、作業学習班での製品の販売と実演を行いました。六つの作業班が工夫を凝らして制作した製品を販売したり実演したりして、日々の学習で取り組んできた成果を発表しました。閉祭式ではサプライズで駆けつけてくれたアップリート君と一緒に『翔ける未来へ』の曲に乗せて「青の煌めきダンス」を踊りました。何度も練習してきたフォーメーションエンジも見事に決まり、多くの笑顔と拍手に包まれながらファイナーレを迎えることができました。

準備期間も含め、友達や先輩と協力し、最高の高等部祭を作り上げることができました。ご来場いただきました皆様、本当にありがとうございました。

